

# 上司のコミュニケーション行動が 部下のメンタルヘルスに与える影響 にご協力いただいた方へ

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野では、上司（看護師長）のコミュニケーション行動が部下（看護師）のメンタルヘルスに与える影響を実施しています。

## 【研究課題】

上司（看護師長）のコミュニケーション行動が部下（看護師）のメンタルヘルスに与える影響（審査番号：2832）

## 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・看護管理学／精神看護学分野

研究責任者

國江慶子・東京大学大学院医学系研究科・看護管理学分野

担当業務 研究計画・データ収集・データ解析

## 【研究期間】

2009年11月30日～2014年11月29日

## 【対象となる方】

2010年6月1日～2010年8月31日の間に、病院の看護職の方で、調査に回答した方。

## 【研究の意義】

看護師のメンタルヘルスは病院組織の課題です。看護師長は部下へのコミュニケーション行動を多く行っていることが予測されますが、看護師長の部下へのコミュニケーション行動が看護師のメンタルヘルスに与える影響に関する知見は十分ではありません。これらの関連を検討することで、管理者行動への示唆が得られます。

## 【研究の目的】

上司（看護師長）コミュニケーション行動と部下（看護師）のメンタルヘルスとの関連を明らかにすること

## 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系

研究科・医学部長の許可を受けて実施します。

病院の各部署の看護師長およびその部下（看護師）に対する質問紙調査を行います。質問紙は無記名自記式とし、看護師長用は自身のコミュニケーション行動、仕事の状況、部署の特性、個人属性（資格、経験年数等）などについて、看護師用は上司のコミュニケーション行動、仕事の状況、ワークエンゲイジメント、心理的ストレス反応、個人属性などの項目が含まれます。

対象者には自由意思のもと回答していただき、回答により同意の意思とします。回答後は個別の封筒に入れ封をした後、回収箱に入れていただきます。無記名のため個人が特定されることはなく、回答の有無や内容が上司に知れたり、評価に用いられることはありません。

#### 【個人情報の保護】

回答は無記名のためデータから個人が特定されることはありません。また回答の有無や回答内容は上司や所属施設に知らされることはありません。

この研究に関わって収集されるデータ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしい場合であっても、個人が特定できないため、収集後データを削除することはできません。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科・医学部精神看護分野の運営費から支出されています。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

#### 【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野

担当者：國江慶子（看護管理学分野）

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-3364 FAX：03-5841-3392

メールでのお問い合わせ：k-kunie@umin.ac.jp

※お問い合わせの際には、「オプトアウト」の件でお伝えいただき、1ページ目の研究課題名と審査番号をお知らせください。